

第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

◇日 時：平成28年10月24日（月）
午後3時00分～
◇場 所：国分総合福祉センター
3階 大会議室

<会次第>

1 開会

2 市長あいさつ

3 委嘱状の交付

4 「霧島市ふるさと創生総合戦略」推進に係る組織体制について 資料2 資料3

5 議事

(1) 委員長及び副委員長の選出について

(2) 「霧島市ふるさと創生総合戦略」の取組状況等について 資料4

(3) 地方創生交付金事業の評価・検証等について 資料5

(4) その他

6 その他

7 閉会

【資料一覧】

資料1 霧島市ふるさと創生有識者会議委員一覧

資料2 霧島市ふるさと創生有識者会議設置要綱

資料3 「霧島市ふるさと創生総合戦略」推進に係る組織体制図

資料4 平成28年度 霧島市ふるさと創生加速化事業

資料5 総合戦略取組事業（平成27年度地方創生交付金事業）検証シート

資料1

霧島市ふるさと創生有識者会議委員一覧

(平成28年10月)

番号	しめい 氏名	所属	役職等
1	まつやま みずほ 松山 瑞穂	-	-
2	ふくぞの 福園 ゆかり	あいら農業協同組合	総務部くらし広報課長
3	やまぐち つよし 山口 剛	霧島商工会議所	専務理事
4	つるがの みお 鶴ヶ野 未央	株式会社 九州タブチ	代表取締役社長
5	ふくしま やすし 福島 恭志	ふくしま行政書士事務所	代表
6	やまお かずひろ 山尾 和廣	学校法人都築教育学園 第一工業大学	工学部長
7	げじま よしのり 槐島 義則	首都圏霧島市ふるさと会	副会長
8	やまぐち 山口 ひとみ	カフェモモ	-
9	いのうえ ゆみこ 井上 裕美子	社会福祉法人 至宝福祉会 安良保育園	園長
10	ありむら まさしげ 有村 雅重	霧島市自治公民館連絡協議会	会長
11	かみべつぶ とおる 上別府 徹	株式会社 トヨタ車体研究所	取締役常務役員
12	まつもと じゅんこ 松元 純子	こくぶ通り会連合会	(有)松元鮮魚 専務取締役
13	すえなが たかし 末永 隆	株式会社 九州経済研究所	常務取締役
14	やとう りょうすけ 谷藤 諒亮	第一工業大学2年生 情報電子システム工学科	学友会 会長
15	かわの ひな 河野 陽菜	第一幼児教育短期大学1年生 幼児教育科	学生

霧島市ふるさと創生有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に基づき、人口減少を克服し、地域の活性化を推進する施策・取組を検討するに当たり、広く民間有識者等の意見を聴取することを目的として、霧島市ふるさと創生有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 有識者会議は、霧島市地方創生推進本部設置要綱（平成27年霧島市告示第9-1号）第1条に規定する霧島市地方創生推進本部に対し、次に掲げる事項について、必要な助言、提案、報告等を行うものとする。

- (1) 霧島市ふるさと創生人口ビジョンの策定及び変更に関する事。
- (2) 霧島市ふるさと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定及び変更に関する事。
- (3) 総合戦略の推進及び効果検証に関する事。

(組織)

第3条 有識者会議は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、市政について優れた見識を有する者及び公募に応じた者のうちから市長が委嘱する。
- 3 有識者会議に委員長1人及び副委員長1人を置く。
- 4 委員長は、委員の互選により選出し、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 5 委員長は、有識者会議の会務を総理する。
- 6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 有識者会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 有識者会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(関係者の出席)

第6条 有識者会議において、委員長が必要があると認めるときは、専門家又は関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 有識者会議の庶務は、企画部企画政策課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、有識者会議の運営に関し必要な事項は、委員長が有識者会議に諮り定めるものとする。

附 則（平成28年告示第251号）

（施行期日）

1 この要綱は、平成28年9月23日から施行する。

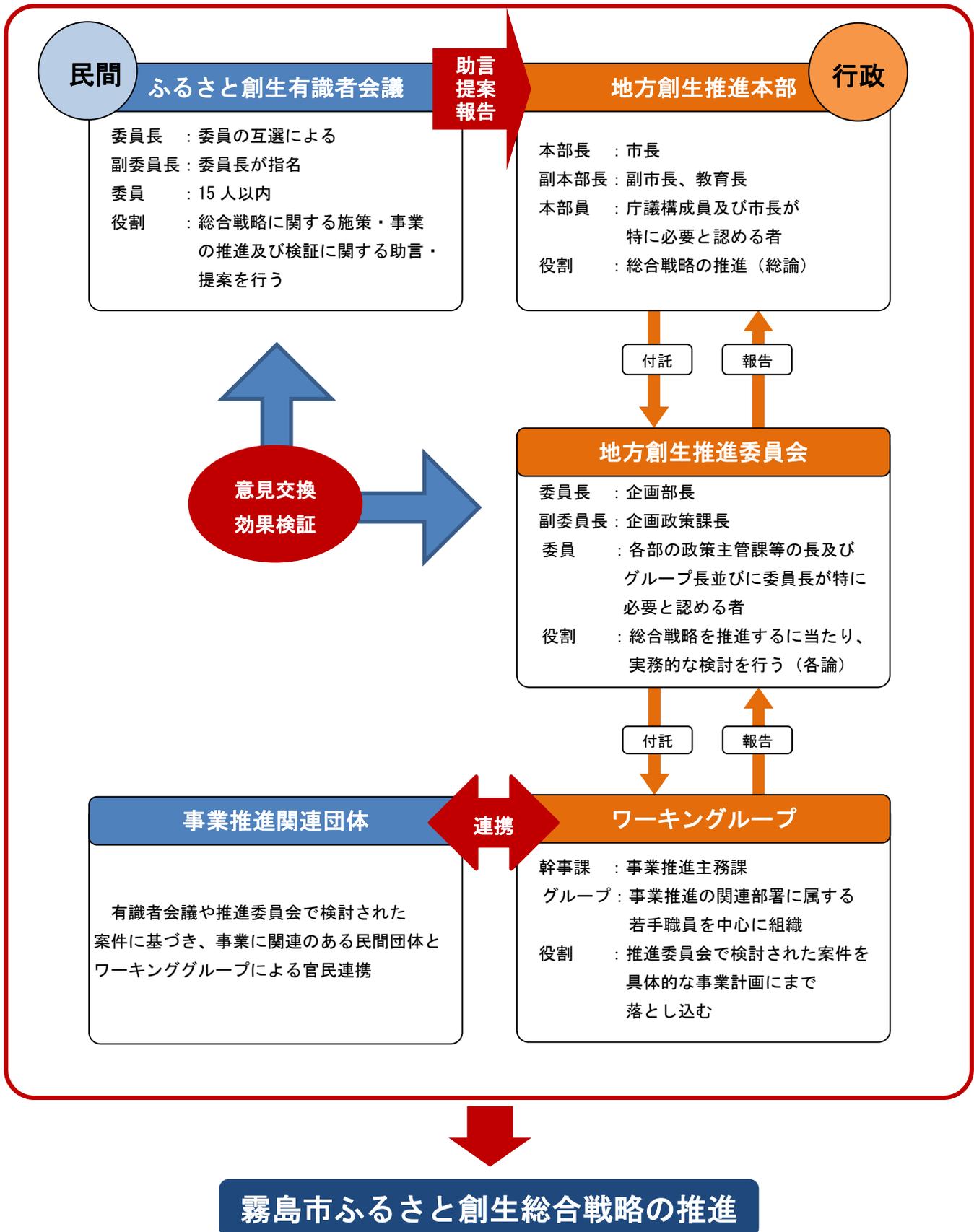
（最初の委員の任期）

2 この要綱の施行後初めて委嘱される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

（経過措置）

3 この要綱の施行後最初に開催される有識者会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

「霧島市ふるさと創生総合戦略」推進に係る組織体制図



平成28年度 霧島市ふるさと創生加速化事業

事業名	霧島市の魅力増幅プロジェクト
担当部署	総務部 秘書広報課

1. 事業の背景・概要

霧島市は面積約603平方キロメートルあり、大きく分けて観光や農業が盛んな中山間地域と、企業が集積し、比較的若い世代が多い平野部に分かれる。地域によって特性や生活環境、人口規模が違うため、統一したブランドメッセージを作りにくく、恵まれた資源を活かしきれていない現状がある。今後、霧島市が継続的な発展を続けるためには、住民のまちへの愛着度を高め、戦略的に魅力を磨き、発信していくことが必要である。

そのためには、官民あげて霧島市の魅力を磨くためのシティプロモーションに取り組む必要性があり、戦略的かつ継続的に霧島市のプロモーション活動を展開するための「霧島市シティプロモーション戦略プラン」作成や、市民や事業者、農家、市職員等を対象とした地域の魅力を磨くブランディングセミナーを行う。

さらには、磨いた魅力を全国に拡散するために、民間の情報発信や動画制作のノウハウを市民等と一緒に学び、市民レベルでの情報発信力の強化につなげることで、「チーム霧島」でまちの魅力を高め、効果的な情報発信をしていき、「移住の促進」「交流人口の増」「地場産業の活性化による雇用の促進」を図っていく。

2. 事業の成果目標

- ・移住、交流人口の増(移住者数、入込観光客数)

3. 具体的な事業一覧

項目	実施事業	事業内容	
①	ブランドメッセージ・ロゴ制作	キシシマイスターの展開に用いるデザイン及び販促物の作成	シティプロモーションのコンセプトを視覚化するためのロゴ等の制作
②	シティプロモーション戦略プランの策定・推進	(仮称)霧島市シティプロモーション戦略プランの策定及び推進	・庁内組織での検討・協議 ・意識調査実施(首都圏・関西圏、市民対象)
③	首都圏メディアパブリシティ活動	プロジェクト内の各事業の情報発信	プレスリリース作成・発信 首都圏メディア・出版社への放映・記事掲載の交渉
		ニュースレターの作成・発信	本市の魅力をまとめた内容の情報発信
④	全国に発信するPRイベント	鹿児島空港プラネタリウム	市内で市民を対象とするイベント実施
		スゴベジ	首都圏でのイベント実施 (都内で展開する飲食店チェーンでの本市食材を活用したメニューや店内イベント等)
		霧島市応援店	霧島市を応援してくれる首都圏の店舗を募集し、市の情報発信や農家等とのマッチングにつなげるイベントの開催
⑤	PR動画制作・プロモーション活動	キシシマイスター THE MOVIE	キシシマイスターコンセプト動画の制作・情報発信
		鹿児島空港プラネタリウムのドキュメントムービー	プロジェクト動画の制作・情報発信
⑥	セミナー・ワークショップなどの開催と実践	まちのブランド力や情報発信力を高めるためのセミナー・ワークショップの開催	
⑦	移住サポートコミュニティの組成に向けた取組	中山間地域への移住促進プロジェクト	移住者やサポート者へのヒアリング及び現地調査、観光物とは分けをした移住者向けマップの作成、移住サポートコミュニティの土台組成

総合戦略取組事業（平成 27 年度地方創生交付金事業）

検証シート

- 1 移住定住促進空き家活用補助事業
- 2 霧島市への新たな人の流れをつくる P R 事業
- 3 女性のための再就職支援セミナー
- 4 霧島産物等 P R 事業
- 5 木質バイオマス副産物利活用調査事業
- 6 林業事業体育成支援事業
- 7 新規創業・第二創業促進支援事業
- 8 企業誘致推進事業
- 9 観光客誘客事業
- 10 観光客誘客事業（事業番号 9 事業の継続）
- 11 防災マップ・災害時備蓄品整備事業
- 12 霧島発農業創生大学プロジェクト事業
- 13 霧島市ホームページリニューアル事業

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	1
------	---

事業名	移住定住促進空き家活用補助事業
担当部署	企画部 共生協働推進課

1. 事業概要等

目的	将来における定住のきっかけをつくるため、本市の中山間地域に市外から転入した40歳未満の若者で、空き家等賃貸住宅に居住する者に対し、家賃補助を行う。 併せて、空き家所有者に対し、賃貸に供するために必要な改修費用等の補助を行う。
経費内容	・家賃に対する補助 (補助率:月額家賃の2/3(上限額3万円)) ・空き家改修等に対する補助 補助率:賃貸に供するために必要な改修費用等の1/3(上限額30万円)
事業費	1,482,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

	指標	目標値	実績値
指標①	市内の中山間地域に市外から転入するもの(世帯数)	30世帯	4世帯
指標②	市内の中山間地域に市外から転入するもの(人数)	80人	7人
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	既存事業の「移住定住促進補助事業」に統合し、新たな補助制度として、継続することにより、移住定住の促進はもちろんのこと、空き家の有効活用を図る。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	2
------	---

事業名	霧島市への新たな人の流れをつくるPR事業
担当部署	企画部 共生協働推進課

1. 事業概要等

目的	霧島市は、移住定住を促進するための補助制度は実施していることから、今後は、新たな人の流れを更に創り出すため、大都市でのPR活動を拡充するとともに、移住候補地としての知名度向上を図る。 特に、子育て世代や若者をターゲットに、移住への支援策や生活環境など、若い世代が求める霧島市の魅力を効果的にPRする。
経費内容	・子育て世代・若者向けの移住情報誌作成及びポスター作成並びに戦略的プロモーション展開のためのCM制作などの委託料 ・霧島市の魅力をアピールするための広告掲載料 ・移住イベント等におけるPR活動のための旅費
事業費	4, 028, 900円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	前年度比年間移住者数100人の増加	100人	56人
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	霧島市の魅力を効果的にPRし、移住定住促進に役立ったことから、既存事業の「移住体験研修事業」と統合し、継続してPRと移住体験研修を行う。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	3
------	---

事業名	女性のための再就職支援セミナー
担当部署	企画部 企画政策課

1. 事業概要等

目的	働く意欲のある女性の再就職を支援するため、結婚や出産などの理由で仕事を辞め、現在職に就いていない女性を対象に、再就職に必要な知識や情報を提供するセミナーを開催する。
経費内容	セミナー開催に係る経費として、 ・セミナーを開催するための委託料 ・その他、セミナー開催に必要な経費
事業費	1,741,200円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	セミナー受講者のうち新規女性就業者割合	50%	20%
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
予定通り事業終了	予定通りセミナーを開催できた。引き続き、女性就業者を増やすための取り組みを推進する。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	4
------	---

事業名	霧島産物等PR事業
担当部署	農林水産部 農政畜産課

1. 事業概要等

目的	地場農産品の消費拡大及び販路拡大のきっかけをつくるため、本市の農産物を広くPRする。 また、PR事業で得た霧島茶の知名度を守るために、商標登録への助成を行う。
経費内容	霧島産物等のPR等に係る経費として、 ・消費拡大イベントに係る旅費 ・メディアPR、霧島茶出店に係る委託料 ・商標登録に対する補助(補助率:1/2)
事業費	8,000,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

	指標	目標値	実績値
指標①	市内4物産館の入場者数	688,000人	691,169人
指標②	霧島産物のPRイベント回数	20回	21回
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	事業が効果的であることを確認できたが、今後はこの効果を定着、深化させるために類似のPR活動を継続していく。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	5
------	---

事業名	木質バイオマス副産物活用調査事業
担当部署	農林水産部 林務水産課

1. 事業概要等

目的	間伐材等を利用した木質バイオマス発電の稼働に伴い発生する焼却灰を山林の肥料や土壌改良材等に再利用する循環型社会を構築するとともに、地域企業の商品開発を支援し新規雇用の拡充を図るため、焼却灰の成分分析や販路開拓調査の経費を助成する。
経費内容	木質バイオマス副産物活用調査に係る経費として、 ・焼却灰の分析調査等に対する補助 補助率: 1/2(上限70万円)
事業費	650,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	商品開発・研究開発件数	3件	3件
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
予定通り事業終了	木質バイオマス副産物(焼却灰)を活用した商品開発については、土壌改良剤、特殊肥料、コンクリート2次製品の3つを検討し、うち特殊肥料について、製品化、販売の目処が立った。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	6
------	---

事業名	林業事業体育成支援事業
担当部署	農林水産部 林務水産課

1. 事業概要等

目的	林業事業体の規模拡大と競争力を高め、雇用の確保と林業の活性化を図るため、新規就労者を確保する募集経費や、高効率作業班の育成を目指した高性能林業機械のリース費用・研修費用等の経費の一部を助成する。
経費内容	林業事業体育成支援に係る経費として、 ・新規就労者募集や高性能機械リース等作業班の充実を図るための経費に対する補助補助率: 1/2(上限200万円)
事業費	2,000,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	就労応募者数	10人	13人
指標②	高効率機械作業班の育成	1班	2班
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
予定通り事業終了	現場技能班員の新規雇用の推進に取組んだ3つの森林組合に、目標を上回る合計13名の応募があった。また、高性能機械作業班員2班の育成をすることができた。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	7
------	---

事業名	新規創業・第二創業促進支援事業
担当部署	商工観光部 商工振興課

1. 事業概要等

目的	新規創業・第二創業を促進するため、インターネット等を活用して販路拡大・販売促進手法を確立し、安定かつ持続可能な経営につなげるとともに、霧島産品の認知度向上によるブランド化を図り、出店しやすい環境づくりも進めていく。
経費内容	新規創業等の促進支援に係る経費として、 ・インターネットを活用した事業者育成講座を開設するため等の委託料 ・インターネット通販の出店費用や空き店舗活用のための家賃に対する補助
事業費	4,443,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	空き店舗への出店者数	7店	9店
指標②	ネット通販登録者数	20人	3人
指標③	物産展参加者	20人	8人
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業内容の見直し(改善)	成果指数において目標値を達成できなかったものがあることから、今後、事業内容を見直し、創業支援事業に取り組みたい。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	8
------	---

事業名	企業誘致推進事業
担当部署	商工観光部 商工振興課

1. 事業概要等

目的	現在、市単独で実施している工業立地等を促進するための助成措置や関係機関等と連携した企業誘致対策事業等に、設備投資やリスク分散等を考えている企業の抽出を行う本事業を加えることで、企業立地の可能性がある企業等を訪問し、本市の企業誘致施策等を説明するなど、効率的・効果的な企業誘致・立地の推進を図る。
経費内容	企業誘致推進事業に係る経費として、 ・企業の動向等を把握するための委託料
事業費	1,890,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

	指標	目標値	実績値
指標①	企業や本社機能の立地の促進 進出企業数	2社	0件
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	成果指数を達成できなかったものの、地域経済の活性化や雇用創出など、地方創生には欠かせない取組であることから、今後、定期的に事業実施したい。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	9
------	---

事業名	観光客誘客事業
担当部署	商工観光部 観光課

1. 事業概要等

目的	本市における多彩・多様な観光資源の磨き上げを推進するとともに、受入環境の整備を進め、観光地としての魅力向上を図る。また、観光客のニーズを踏まえながら、観光資源を十分に活かした独自の企画を検討するとともに、効果的・効率的な宣伝・情報発信を行うことで積極的な誘客に努める。
経費内容	(1)温泉めぐり企画の立案等に要する経費に対する補助(補助率:定額) (2)鹿児島空港国際線ターミナルビル内の電照看板を使用する経費(使用料等) (3)民間の観光事業者が行う受入環境の整備に要する費用に対する補助(補助率:1/2) (4)観光案内板等を設置するための委託料 (5)公衆無線LANを設置するための委託料
事業費	46,647,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	霧島市を訪れた宿泊観光客数の増	21,000人	▲17,153人
指標②	誘客支援事業を活用した団体・事業者数	40件	25件
指標③	外国語標記観光案内板設置件数	11箇所	43箇所
指標④	公衆無線LAN環境整備箇所数	10箇所	10箇所

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	観光客数については、様々な要因により減少したが、交付金の活用により観光客の受入環境の充実・強化が図られたことから、更に事業効果を高める為にも引き続き、国内外への効果的なプロモーション活動を展開する。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	10
------	----

事業名	観光客誘客事業(事業番号9事業の継続)
担当部署	商工観光部 観光課

1. 事業概要等

目的	国内外からの更なる誘客と、受入環境の整備、充実を図るため、よりわかりやすいホームページの整備や、音声ガイド機器の導入、観光関係団体等と連携したプロモーション活動を展開する。
経費内容	①観光客の受入環境の整備として観光情報発信に係るHPの多言語化及び音声ガイドシステム導入に要する経費に対する補助 ②戦略的プロモーションの展開として霧島市のイメージアップを図り、国内外からの更なる誘客を促進するため、観光関係団体等と連携し、キャラクターを活用したプロモーション活動を行う。
事業費	4,820,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	HPアクセス数	250,000件	347,440件
指標②	音声ガイド利用者数	50,000人	52件
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
事業の継続	最新の観光素材をHPを通じて広く情報発信するとともに、霧島神宮周辺の新たな観光ツールとして、周知及び利用促進を図りながら引き続き、国内外への効果的なプロモーション活動を展開する。

4. 有識者からの評価・提言等

--	--

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	11
------	----

事業名	防災マップ・災害時備蓄品整備事業
担当部署	総務部 安心安全課

1. 事業概要等

目的	避難所や危険箇所等の認識を深めるために防災マップの作成を行うとともに、子どもや女性等に少しでも安心できる避難所生活を提供するために、最少限必要な防災用品を備蓄する。
経費内容	安心安全な暮らしを守るための経費として、 ・防災マップの作成配布のための経費 ・防災用品を備蓄するための経費
事業費	12,950,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

	指標	目標値	実績値
指標①	市民の防災に対する認識度の高まりについて	81%	72%
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
予定通り事業終了	平成27年度に防災マップを作成し全戸に配布した。また、子ども、女性、高齢者に配慮した防災用品を整備したことで、災害時に弱者となる子ども、女性、高齢者へ安心した避難所生活を提供できる環境が整った。今後も市民の防災意識の高揚に努める。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	12
------	----

事業名	霧島発農業創生大学プロジェクト事業
担当部署	企画部 企画政策課

1. 事業概要等

目的	若者の定着化は、少子高齢化対策、生産労働人口の確保、地域の活性化対策など地方創生の柱となるべき重要な施策となっていることから、転入促進・転出抑制、基幹産業である農林水産業の推進・担い手育成、働く場の創出をパッケージ化、ワンストップ化するため、地元大学と連携し、農林水産業の6次産業化を核として、地元で育成した人材を地元に着させるための新たな人の流れ、雇用の創出とともに農林水産業における付加価値を高めた商品開発や販路の拡大などによる経済の活性化を目指す。
経費内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学内に設置してある「社会連携センター」の機能強化に係る6次産業化コーディネーター(仮称)の人件費、活動費 ・募集広告委託費、募集パンフレット制作委託費、テレビCM制作放送委託費、新聞広告委託費、募集説明会等出張旅費 等 ・植物工場ユニット、ミニ野菜工場プラントセラー、CO2計測装置、照度計測装置、ネットワーク接続装置、タブレットPC、薬品庫 等
事業費	20,000,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標	目標値	実績値
指標① 産学官連携事業の取組件数	15件	7件
指標② 新設コース志望学生数	50人	35人
指標③		
指標④		

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
追加等更に発展させる	農業分野では、引き続き連携強化と事業推進に努め、併せて、大学のシーズを活かした政策間連携など他の分野においても産学官連携を推進していく。

4. 有識者からの評価・提言等

総合戦略取組事業(平成27年度地方創生交付金事業)検証シート

事業番号	13
------	----

事業名	霧島市ホームページリニューアル事業
担当部署	総務部 秘書広報課

1. 事業概要等

目的	地方創生関連の各種事業(移住促進事業、インバウンド・アウトバウンド事業等)を展開していくうえでホームページを活用した広報活動は大きな役割を担う。本市のホームページをスマートフォン対応にするとともに、facebookやTwitterなどのSNSと連動したホームページにリニューアルすることで、霧島市の取り組む地方創生関連の各種事業をより多くの人に知ってもらうことを目的とする。
経費内容	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト構築費 ・CMS構築費 (コンテンツマネジメントシステム)
事業費	10,000,000円

2. 事業の成果目標と実績値(平成27年度基準)

指標		目標値	実績値
指標①	HPアクセス数	40,000件	48,849件
指標②			
指標③			
指標④			

3. 実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
予定通り事業終了	予定通り事業を終了。引き続き、利便性の向上や本市の魅力発信に繋がる創意工夫を継続していく。

4. 有識者からの評価・提言等